

平成 22 年度 継続事務事業評価シート 事業類型 I ソフト事業 2次評価対象

	コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	109	鉄道網整備促進事業	会計	01	一般会計
			款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	06	企画費
基本 施策	49	広域的な道路・交通環境を整備する	細目	122	地域振興経費
			細々目	51	鉄道網整備促進経費
行革大綱の重点事項番号		7			
担当部課	コード	11300	担当者 氏 名	森 健至	22 - 9621
	名 称	企画課		連絡先	(内線) 2115

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	関西本線利用者 草津線利用者			※対象件数
成果(どうする)	・佐那具駅運営業務:駅員無配置駅である佐那具駅における出札及び清掃など管理業務を受委託して利用者の利便向上と利用促進を図る。 ・伊賀上野駅便所維持管理業務:篤志家から寄付を受けた便所の維持管理を行い、乗客の利便向上を図る。 ・草津線複線化促進:伊賀から京都への最速ルートの複線化を促進する。			
根拠法令・要綱等	伊賀上野駅便所:浄化槽法			
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度		
H21 事業 内 容	佐那具駅構内営業運営委員会へ出札業務、除草等を委託。 伊賀上野駅便所については、用便紙の補充と浄化槽等施設の維持管理。 滋賀県草津線複線化促進期成同盟会員として草津線の利用促進事業を行うとともに、JR京都支社などへ要望活動を実施。			
社会情勢 の変化等	草津線複線化:同盟会の活動として、チラシ作成などによるPRから利用増に直結する具体的活動に力を入れている。また併せて部分複線化の具体化に向けて滋賀県を中心に鉄道事業者への働きかけを積極的におこなっていることから、費用負担についての議論が始まる可能性がある。			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	目標		
	佐那具駅除草作業(作業指定月数)	月	実績	実績	4	4
	伊賀上野駅便所保守点検	回	目標	目標	4	4
			実績	実績	4	4

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	目標		
	乗車券等販売手数料等	事業がどれだけ地域の利用につな がっているか	千円	目標	1550	目標	1520
				実績	1455	実績	1357
				目標		目標	
				実績		実績	

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
	直接事業費計 (A)		4,566	5,138	4,318		4,318	
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他		1,455	1,520	1,454		1,550	
	一般財源		3,111	3,618	2,864		2,768	
	事業投入人件費 (B)		0.5 人 3,600	0.5 人 3,600	0.5 人 3,600	0.5 人 3,600		
	フルコスト(A)+(B)		8,166	8,738	7,918		7,918	

事務事業の評価 (Check)

必要 性	判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○	
有効 性	佐那具駅及び伊賀上野駅利用者の利便性確保は地域の玄関口を守る意味から必要である。また、大量輸送機関である鉄道の整備促進は地域振興の面から必要である。		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	○	
達成 度	市民生活に密着した駅や鉄道の利便性が低下し、地域振興を進める上で支障がある。		
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高		
効率 性	サービス水準や対象を見直す余地がある。		
	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】		
	予算の繰越の有無 無 予算の繰越がある場合、繰越の捌別		
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【事業名】		
	受益者負担を求めることができる事業である。		
	全体コストにおける負担構成は適正である。		
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	佐那具駅の費用対効果については、市営駐車場管理も含めた評価を行うよう検討する。
昨年度 の取組 状況	【状況】 計画のとおり進んでいない 【詳細】 市営駐車場管理を含めた評価を行わなかった。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	増田 基生
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	佐那具駅発券業務等委託では、切符類販売の地域での利便の確保、地域の玄関口を守る点から引き続き必要である。伊賀上野駅便所は、市有財産であるため引き続き管理を要する。草津線複線化促進、リニア中央エクスプレス建設促進期成同盟会への負担金は、地域振興につながる目標達成のため引き続き各団体において共に活動するため必要である。
現時点における 課題、その他	佐那具駅発券業務委託では、販売手数料の底上げのため地域における利用促進を図る必要がある。伊賀上野駅便所は、設備のトラブルがたびたび発生するため、管理面について課題がある。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何 を、どうする)	平成26年度までに、佐那具駅におけるJR券購入を推進して手数料の増加を図る。伊賀上野駅便所の利用者に対し適正利用を啓発する。